

1、 慈眼山・阿主南寺の再建

行基開基の寺・・・大井川の中流域・川根茶の里、古文書（国立文学資料館）寺院明細帳

寺院規則・第3条・・・この法人は、千手観世音菩薩を本尊とし行基菩薩を開祖として尊信し、釈尊の教義をひろめ、儀式行事を行い、信者を教化育成し、衆生済度の聖業に精進し、その他この寺院の目的を達成するための業務を行うことを目的とする。

寺の歴史・・・行基による創建 727、覚鑿による再建 1105、戦火 1520 過ぎに焼かれた仁王像 湧き水・慈眼山の謂れ 平成 15 年 7 月 11 日・静岡県知事より上記新規規則認証

2、 阿主南寺の教義・経典と法相宗

般若心経と成唯識論・・・“空”の理念（般若心経）・竜樹、深層心理を解く唯識論（唯識三十頌）・世親 玄奘三蔵（窺基）・道昭・行基→法相宗・俱舍宗 法相宗、元興寺・法隆寺・興福寺・薬師寺・清水寺など 興福寺・北円堂の弥勒・無着・世親像→唯識・三大学問僧

3、 仏教の成り立ちと日本仏教

ブッダの時代・・・2500年前・ギリシャ・インド・中国の都市文明化と学問の発展 仏教の経典・・・ブッダの言葉、結集（第一回～第四回）、龍樹、世親、3000 経典 小乗(上座部)・南伝/大乘・北伝/ 金剛乗と、シンクレティズム（習合）について インドにおける仏教の盛衰（BC300～8・9世紀）、中国における仏教の盛衰（4世紀～12・3世紀） 日本仏教・・・飛鳥 538年百濟王・聖王→欽明天皇・仏像・経典

(修験道+道教→山岳修験者 役行者・葛城山) 高句麗僧・慧慈→聖徳太子(574～622)憲法17条・冠位12階 (三経義疏・“世間虚仮・唯仏是真”)

奈良 聖武天皇・光明皇后 東大寺・大仏建立→行基・良弁・菩提傳那 (金光明四天王護国之寺・総国分寺→752年開眼供養) (六宗兼学の道場 754年・鑑真・戒壇院・唐招提寺)

南都六宗・三論宗、成実宗、法相宗、俱舍宗、律宗、華嚴宗 奈良末～平安初期 幣帛制度・律令制度の動揺→神々の動揺→神身離脱

平安 古代律令制度のゆらぎ→荘園制度の発展と仏教への権力者の期待 最澄・伝教大師 天台宗 台密 “一念三千世界” “一隅を照らす” 空海・弘法大師 真言宗 東密 “三教指帰” “いろは歌” (密教の宇宙観 胎藏曼荼羅・大日経、金剛界曼荼羅・金剛頂経) 浄土思想の普及 謬信（往生要集→地獄極楽）942～1017

鎌倉 下克上→旧秩序の崩壊→末法思想 天変地異・元寇の役 武士階級

法然・浄土宗 道言“教を俱むことなかれ”“選択本願念仏集”土佐流刑、 親鸞・浄土真宗 悪人正機 “教行信証”念仏・南無阿弥陀仏 栄西・臨済宗 “興禅護国論”“喫茶養生記”鎌倉・建仁寺 道元・曹洞宗 只管打坐の禅“正法眼蔵”永平寺 日蓮・日蓮宗 “立正安国論”南妙法蓮華経→お題目 他宗攻撃→念仏無限・禪天魔・真言亡国・律国賊 一遍・時宗 遊行上人・踊り念仏→念仏踊り→盆踊り “問うなれば仏も我も無かりけり南無阿弥陀仏々々”

室町 仏教が、茶道・華道・文学・芸能・絵画などを通して人々の生活の中に浸透し、指導原理となった。謡曲“山姥”、観阿弥、世阿弥、 夢窓疎石(1275～1351)臨済宗・南禅寺住職、西方寺・天竜寺の庭 一休宗純(1394～1481)臨済宗・大徳寺住職、文人や堺商人と交流 加賀一向一揆（蓮如）(1474～1580) 本願寺教団の発展が農村・惣代と結びついて自治組織に発展して、約1世紀の間加賀一國を支配した 五山十刹の制度 南宋の制度を真似て鎌倉末に建長寺・円覚寺・寿福寺 浄智寺・浄妙寺→天竜寺・相国寺・建仁寺・東福寺・万寿寺=京都五山 本願寺建立 東山・大谷に親鸞の遺骨を納めた廟→3世覚如が本願寺へ →8世蓮如が山科本願寺 1480→石山本願寺 1532→11世顯如が西七条の地を秀吉より寄進され西本願寺 1591→長男・教如が東六条の地を 徳川家康より寄進され東本願寺 1602

江戸 1665年・家綱・寺院法度“寺請制度”(檀那檀家)“本末制度” 良寛“形見とて何か残さむ春は花夏不如帰秋は紅葉葉” 芭蕉“旅に病んで夢は枯野を駆け巡る”“清滝や波に散り込む青松葉”

明治 1868年（明治1）神仏分離令→廃仏毀釈

4、 世界の中の仏教

21世紀の仏教・・・原点を見直す→釈尊の教え・原始経典・阿含経（アーガマ）とニカーヤ ニカーヤ第5部・スッタニパータ（ブッダの言葉）とダンマパタ（法句集） 悉曇（サンスクリット語）→法隆寺の貝葉（樹葉を乾燥して書写したもの） 安然(841～898)比叡山の五大院に住し顯蜜・悉曇の研究に没頭、台密を大成 高貴寺・慈雲尊者欽光(1713～1804) →「梵学津梁」1千巻 “空” シューニヤ=不変実体は無、唯識・六感+マナ識+アラヤ識=深層心理

信者数の分布・・・世界三大宗教の比較（仏教の特徴→哲学・倫理性と柔軟性と排他性少し） インドでの仏教復活・・・アンベードカル（現インド憲法起草）“ブッダとそのダンマ” 50万人の改宗 阿主南寺・責任役員 松原鐵男

静岡県管下駿河国志太郡伊久身村身成字寺下

蓮華院末

真言宗高野派 阿立南寺

一、本尊 千手観世音菩薩

一、由緒

寺伝云神亀五年行基菩薩當本尊ヲ彫刻シテ此地ニ安置シ後  
康和五年興教大師當國飛錫ノ時堂宇建立スト大永年中兵火  
ニ罹リ堂宇灰燼セリ慶長三年正月桂岩昌ナル者再建スト云

一、本堂 間口 三間三尺 奥行 三間三尺

奥行 三間三尺

一、坊舎 間口 六間 七間三尺 奥行 四間 四間

内本尊 不動明王

由緒不明

一、雪隠 間口 貳間 奥行 壹間三尺

奥行 壹間三尺

一、境内 百八拾九坪壹合

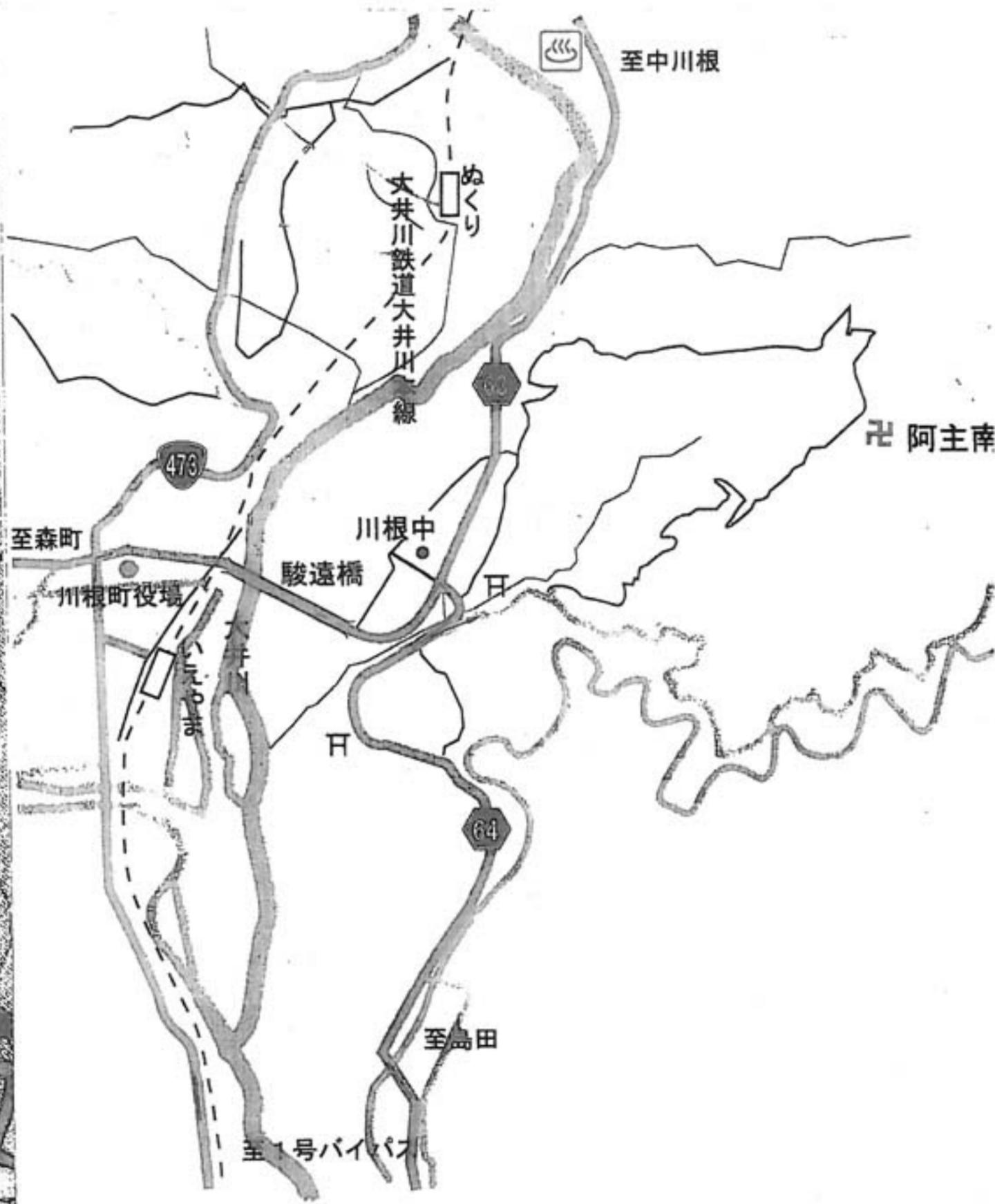
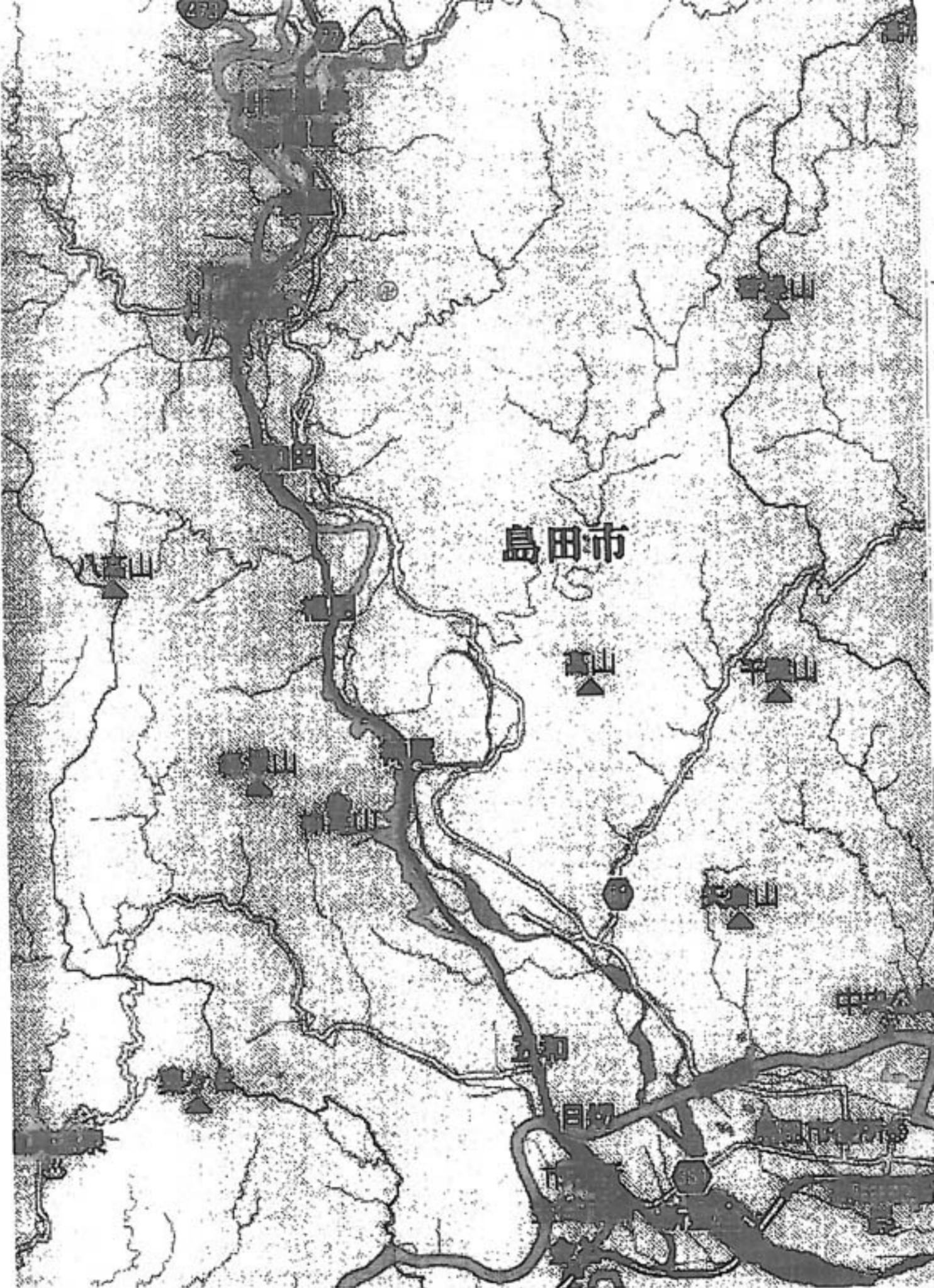
民有地第壹種

以上

出典・宗務課引継文書

「寺院明細帳」静岡県(三)志太郡

国立文学資料館・史料室保管

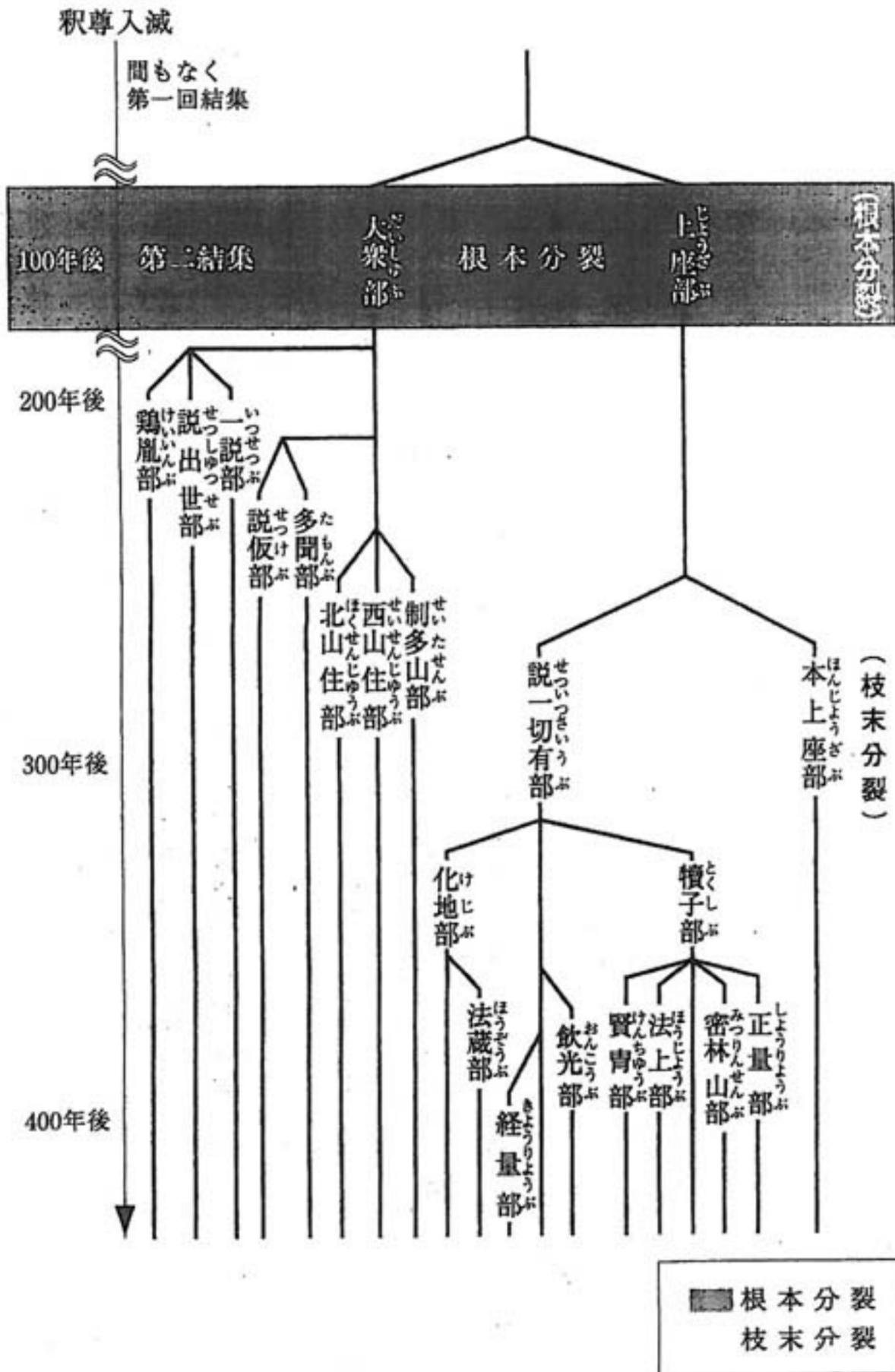


2500年前(BC500年頃)のギリシャ・インド・中国

キーワード・都市国家群と百家争鳴

	ギリシャ	インド	中国
都市国家群			夏・殷王朝の盛衰
	スパルタ市誕生・BC900	インダス文明・BC2500～1500	殷周革命…文王・武王を且が助ける
	ギリシャ人による地中海植民・ギリシャ都市国家群	ガンジス川流域に都市国家群出現	周公旦…西周・成王BC1025～1005の叔父
	第一回オリンピック競技・BC776	バラモン教(ヒンドゥ教)・カースト制度の成立・前8C	春秋(韓・魏・趙)・戦国時代(秦・楚・齊・燕・趙・魏・韓)
			春秋(BC770～476)・戦国時代(BC476～221)
百家争鳴			
	ターレス・「日食」を予言・BC585	リグヴェーダ成立・BC1000頃	孔子・「論語」・BC551～479
	ヘラクレイトス・「万物は流転する」・BC500頃	ウパニシャッド哲学・六派哲学起こる・BC700頃	墨子・「墨子」=兼愛・BC480～390
	ピュタゴラス・「ピュタゴラスの定理」・BC582～497	パーガヴァルタ教・デヴァキープトラ・BC550頃	老子・「老子」・BC5世紀 道教の祖
	ヘロドトス・「歴史」・BC484～425	釈迦(ゴータマ・シットルダ)・BC566～486・仏教教団成立	列子・「列子」・BC450～375 道家
	ソクラテス・「無知の知」・BC469～399	ジャイナ教・マハーヴィラ・～BC468	呉子・「呉子四十八篇」・BC440～381 兵法、呉起
	デモクリトス・「原子論」・BC460～370	マハーバーラタ、ラーマーヤナ原形・BC350頃	孫子・「孫子」・孫臏(孫武の孫)BC380～320
			孟子・「孟子」・性善説・BC372～287 儒家
			荘子・「荘子」=無為自然・BC369～286 道教の祖
			荀子・「孫卿新書」・BC313～238

# 教団の分裂図



## 世界の宗教 世界人口63億人・ブリタニカ国際年鑑2003年版

宗教の別	宗派	信者数・百万人	世界人口比%	地域的分布
キリスト教	カトリック	1,096	17.4	欧米中心・その他各国にも
	プロテスタント	365	5.8	
	東方正教会	220	3.5	
	その他	391	6.2	
	合計	2,072	32.9	
イスラム教	スンニ派	1,039	16.5	アラブ諸国・アジアアフリカ
	シーア派	202	3.2	
	その他	13	0.2	
	合計	1,254	19.9	
ヒンズー教	インドのみ	838	13.3	インド
儒教・道教	中国のみ	403	6.4	中国
仏教	大衆仏教	208	3.3	アジア
	上座部仏教	139	2.2	
	チベット仏教	25	0.4	
	合計	372	5.9	
土着宗教		239	3.8	
新興宗教		107	1.7	
シク教		25	0.4	
ユダヤ教		13	0.2	
総計		5,323	84.5	

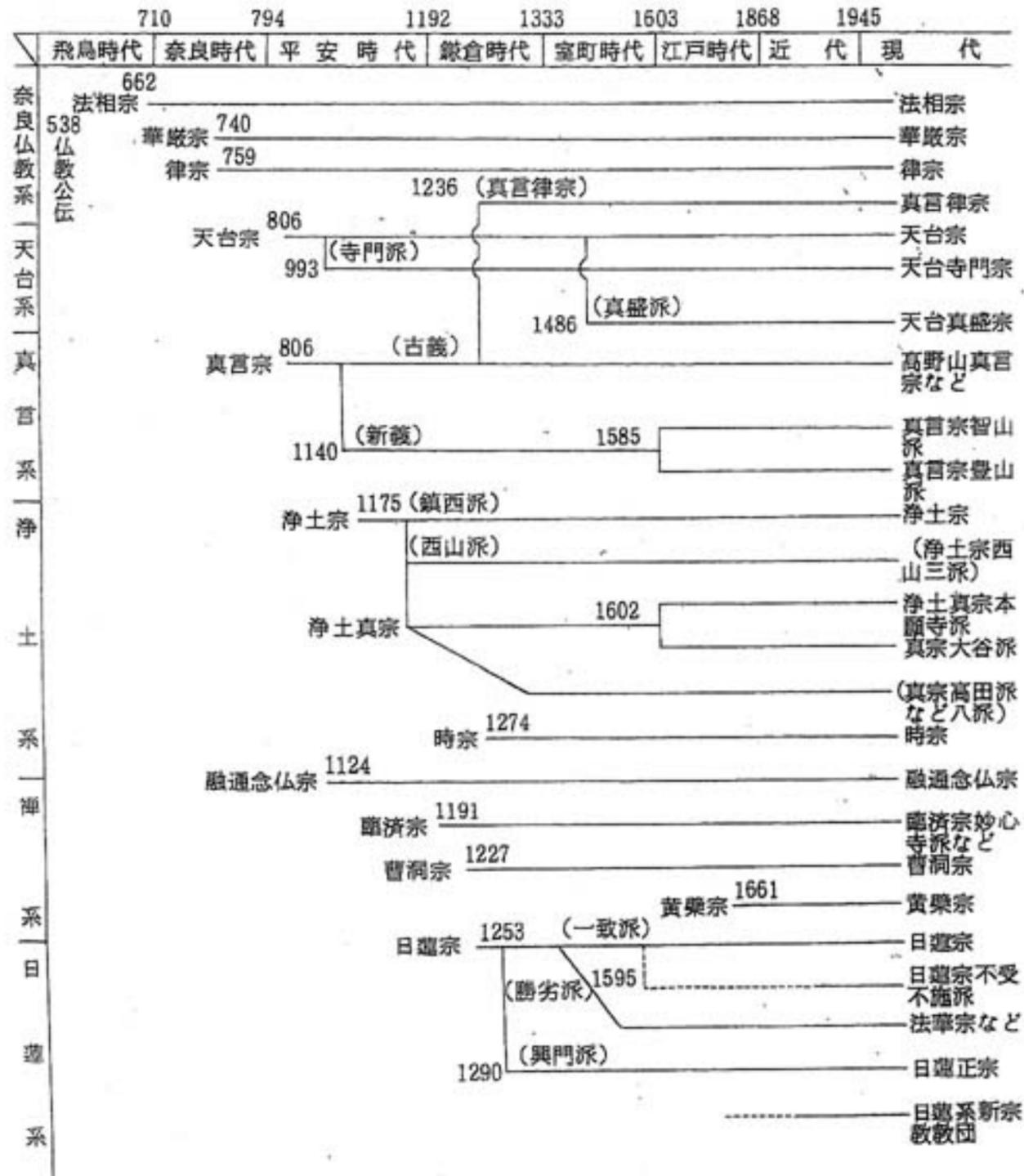
**大衆仏教**：西暦紀元前後からインドに興った仏教革新運動。初期の出家仏教は多くの学派に分れ(部派仏教という)仏教者は悟りを啓くため修行に励んだ。これに対して革新仏教は、悟りの真理を携えて世のため人のために慈悲他利行を実践して、現実社会の浄土化に努める(これを菩薩行という)ことを理想とした。→ 北伝仏教

**上座部仏教**：ブッダ入滅後100年ころ仏教教団の教義の解釈をめぐる、意見が分かれ「上座部」と「大衆部」とに分裂した。とくに戒律をめぐる対立については「上座長老」たちが意見をまとめた。その後、上座部は11の部派に、大衆部は9の部派に分かれた。→ 南伝仏教

# インド・中国・日本の仏教の流れ

年代	インド	中国	日本	備考	
BC500	ヒンドゥー文化 リグ・ヴェーダ ウパニシャッド 梵我一如 BC566年・釈尊誕生 29歳で出家 シュラマナへ 六師外道 35歳・大悟 仏教教団成立(出家願・比丘尼) 祇園精舎	春秋時代 諸子百家・孔子・老子・荘子・荀子・墨子・孟子・呉子・孫子	網文文化	ギリシャ・ヘロドトス・ソクラテス ヘラクレイトス・万物は流転す デモクリトス・原子論	
BC400	八正道 四諦 五戒 遺言・白灯明・法灯明 486年・釈尊入滅(80歳) 第一回結集 経と律を定める (アーナンダとウパーリが読み上げ、唱和して確認)	戦秋時代			
BC300	BC377・第二回結集(上座部と大衆部に根本分裂)→ 20部派へ BC250年頃・第三回結集 原始経典を整理 律蔵・論蔵(三蔵)に編纂 阿含経(4)北伝 ニカーヤ(5)南伝	秦	弥生文化	マウリア朝・アショーカ王 ギリシャ文化の影響を受け仏教 文化が西域地方へ伝えられた	
西暦紀元	ニカーヤ第5部の釈尊の説法→スッタニパータ(経集)・ダンマパタ(法句集) アショーカ王・インド全土に仏塔・療養所を設置 大衆仏教誕生・大衆経典・般若経・華嚴経・唯摩詰の成立	漢	生文化	クシャーナ朝・カニシュカ王 西域地方を支配し仏教文化が 中国に伝えられた	
200年	150年頃・カニシュカ王の時・第四回結集 大衆仏教の発展 150~250年・龍樹 (ナーガールジュナ) 中論・大智度論 六十頌如理論・十住毘婆沙論など	後漢 148年・恒帝が西域の僧・アルケサスとシルカセンを長安に招き、 三國時代 経典の翻訳依頼 西晋	古墳優 時の代五 王		
400年	マイトレーア・アサンガ・ヴァスバンドゥ 弥勒 → 無著 → 世親 瑜伽唯識論 俱舍論・唯識三十頌 瑜伽唯識派の成立……玄奘三蔵を通して中国へ	南北朝 道安・中国独自の本格的仏教研究“綜理衆經目錄”・弟子に慧遠 鳩摩羅什・長安へ“維摩經”“阿彌陀經”“般若經”を翻訳 法顯・インド(399~413)へ 北魏・太武帝が仏教弾圧・廃仏毀釈	飛鳥 奈良 時代	鳩摩羅什は下の経典を訳出した “坐禪三昧經”“阿彌陀經”“大品般若經” “法華經”“唯摩詰”“大智度論”“中論”	
600年	ヒンズー教などの基層信仰と仏教の習合→初期密教へ 神秘主義的な呪術を取り入れて仏教の大衆化を図る 大日経・金剛頂経の成立→中期密教へ	隋 玄奘三蔵・インド(629~645)へ唯識論学ぶ 成唯識論 大般若経100巻 北宋・慧文・慧思→智顛“法華經”を基本に天台宗 胡吉蔵・三論宗 玄奘の“成唯識論”を基本に弟子・窺基が法相宗・道明は玄奘に師事。	飛鳥 奈良 時代	役行者・修験道 高句麗僧・慧慈に師事！三蔵通曉(勝賢・唯摩・法華) 538年・百濟王より伝来 604年・聖徳太子・憲法17条制定 東大寺・国分寺・国分尼寺 南都六宗 国家鎮護	三論=“中論”“十二門論”“百論” 645年・大化改新 六宗=三論・成実・法相・俱舍・律・華嚴
800年	密教(金剛乘)の確立→金剛界曼陀羅と胎藏曼陀羅 後期密教→インド社会(ヒンドゥー教)に吸収される	唐 唐・高祖に始まる唐代300年は中国仏教の黄金時代 浄土教・北宋の曇鸞“往生論註”→易行道・念仏結社(道林・普導) 禪宗・南北朝に菩提達磨が“正法眼蔵”をもたらす→五家七宗へ	平安 時代	道昭(遣唐使)→行基・大仏建立 中かりの寺・多敷 最澄・空海の出現・真言密教輸入→東密・台密 鑑真来日 唐招提寺 東大寺に国立戒壇	729年・阿主南寺・開山
1000年		五代 律宗・道宣→大衆戒律“三蔵淨戒” 華嚴宗・杜順“華嚴經”を基本に最高原理 臨濟龍玄“臨濟録”による臨濟宗 曹溪慧能と洞山良价による曹洞宗	平安 時代	源信の“往生要集”などにより浄土信仰・地獄極楽の普及 “源氏物語”や“枕草子”にも浄土信仰が現れている 興教大師・覺鑿が高野山・金剛峰寺座主 後に根来寺へ	覺鑿が阿主南寺・再建
1200年	1203年・イスラム教徒による“ヴィクラマシラー寺院”の破壊	宋 宋・太祖時代に経典を集大成し、“大蔵經”完成 道教・儒教興隆、居士仏教(浄土信仰の結社)、仏教衰退 ラマ教(チベット仏教)が中国に伝えられる	鎌倉 時代	比叡山・天台宗から、新仏教運動始まる 法然・浄土宗 親鸞・浄土真宗 栄西・臨濟宗 道元・曹洞宗 日蓮・日蓮宗 一遍・時宗	
1400年	1300年頃・イスラム教の本格流入→インド仏教の壊滅	元	室町 戦国 時代	国家鎮護から個人の安心立命へ 極楽浄土への希求 文学・芸能・絵画などを通して仏教が庶民生活に浸透 浄土真宗・蓮如→農民に普及 加賀の一向一揆 夢想疎石・竜安寺 観阿弥・世阿弥 五山十刹制	
1600年		明	織豊 徳川 時代	各教団弾圧される 石山本願寺・延暦寺の焼き討ち キリシタン禁制→寺院法度→寺請制度・本末制度 寺院人別帳により日本人全体が仏教に組み込まれた 曹洞宗の僧・良寛 “草の露”“形見とてなにか親さん……”	
1800年		清	徳川 時代		
2000年	インド仏教復活 アンベードカル “ブッダとそのダンマ”	洪秀全の太平天国の乱により寺院・仏像・経典が焼却され、 仏教は致命的打撃を受けた。 中国革命で「宗教はアヘン」として弾圧されさらに紅衛兵運動により 寺社・仏像破壊される 仏教復活の兆し・浄土信仰と禪宗佛法が甦る	明治大正 昭和 平成	1867年・明治維新 阿主南寺・再々建！ 金融危機→精神文化の見直し	

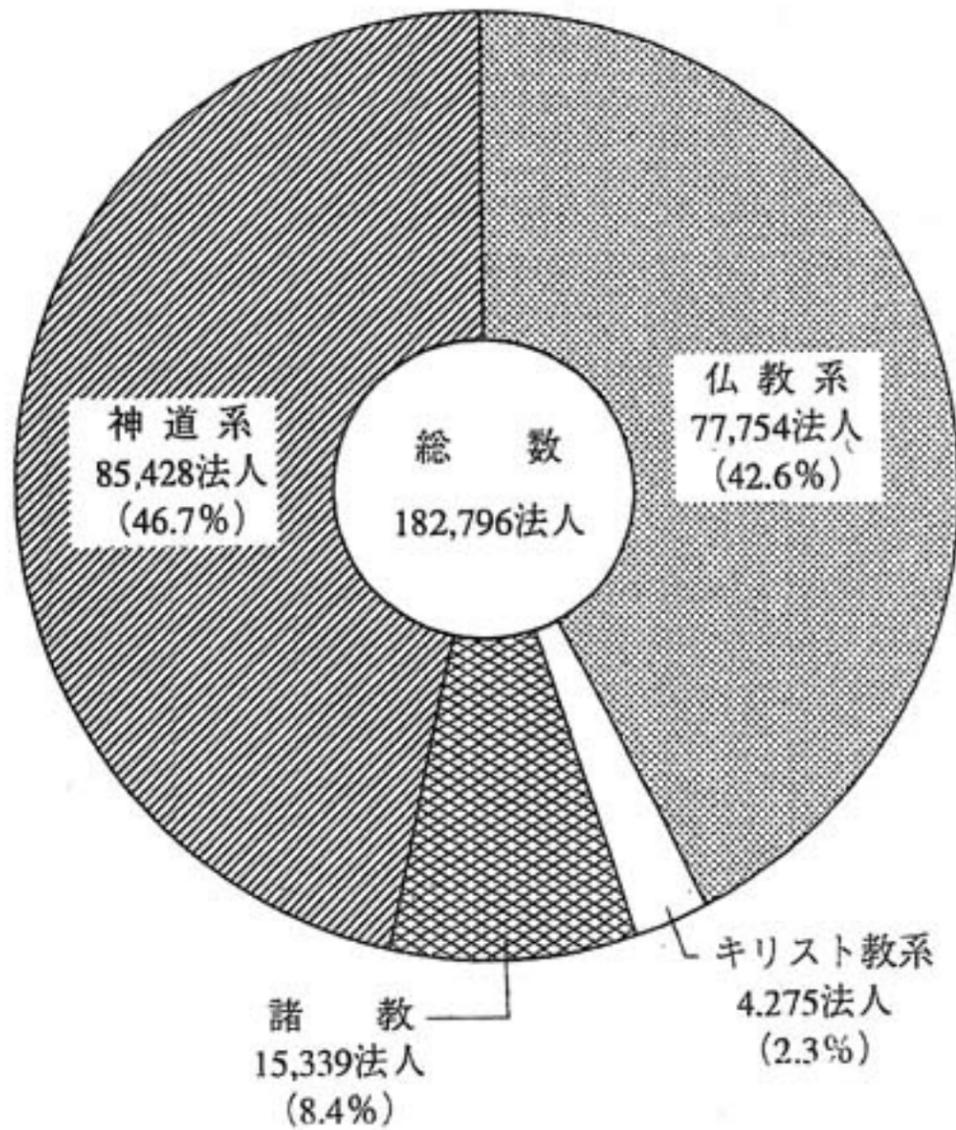
仏教の流れ



わが国の宗派別・宗祖・総本山・本尊・所依經典・信徒数

宗派	宗祖	総本山	本尊	所依經典	信徒数
華嚴宗	良弁	東大寺	毘盧遮那仏	華嚴經	44,134
律宗	鑑真	唐招提寺 西大寺	毘盧遮那仏	四分律經・梵網經 法華經	135,400
法相宗	道昭	興福寺 栗師寺	藥師如来 他	解深密教 成唯識論	519,022
天台宗	最澄	延暦寺	釈迦牟尼仏	法華經	1,908,039
真言宗	空海	金剛峰寺 東寺	大日如来	大日經 金剛頂經	9,126,756
浄土宗	法然	知恩院	阿弥陀仏	阿弥陀經・無量寿經 観無量寿經	6,462,477
浄土真宗	親鸞	西本願寺 東本願寺	阿弥陀仏	阿弥陀經・無量寿經 観無量寿經	12,798,261
時宗	一遍	清浄光寺	阿弥陀仏 名号	阿弥陀經・無量寿經 観無量寿經	63,000
日蓮宗	日蓮	久遠寺	釈迦牟尼仏	法華經	5,118,610
臨濟宗	栄西	建仁寺 他	釈迦牟尼仏 他	金剛般若經 他	1,114,164
曹洞宗	道元	永平寺 總持寺	釈迦牟尼仏	般若心經 他	1,556,860
黄檗宗	隠元	万福寺	釈迦牟尼仏	特になし	350,000
合計信徒数					39,196,723

我が国の社寺教会等单位宗教法人数  
(平成17年12月31日現在)



我が国の信者数  
(平成17年12月31日現在)

